

暮らしと
生きる

「変化を楽しむ住まい」を
コンセプトに、
住まいと住まい手に関わる
素材や食や職や環境をも育み、
時代と環境の変化に適したモノ・
コトを創り、伝え続ける
工務店のお話。

スタイリッシュで
木の良さを前面に出した
シヨールームが完成

この春、片桐建設の新しいシヨールームが愛知県岡崎市にオープンしました。三角の屋根が地面まで届くデザインは世界遺産にも登録された合掌造りを思わせませんが、そのラインはずっと鋭利でスタイリッシュです。2棟の建物を上空から見たら、二つの二等辺三角形を互い違いに並べ、間を廊下とバルコニーでつなぐ構造が見て取れるでしょう。つまり、下の写真向かって左側の棟は奥に行くほど空間が絞られており、右側のそれは反対に手前から奥に向かって空間が広がっていきます。

内装は天井と壁を兼ねた面に無垢材で小間返しを施しています。木のぬくもりと香りに包まれながら、精緻な建築が奏でる音律に心が整っていくのを感じます。



室内楽の演奏会ができそうな岡崎ショールーム内部。
三角形の造形と小間返しのデザインが美しい。



片桐建設 営業部 ハウジングプランナー
中澤 優太さん

工務店と建築家と ハウスメーカーの メリットをいっとこ取り

片桐建設は創業以来、熟練の技をもつ大工や職人がつくるオリジナル住宅に注力する一方、住宅の建材・設備機器の製造・販売等を手がけるリクシルグループの一員で日本最大級の住宅FCを展開するリクシル住宅研究所の主力ブランド、アイフルホームの住まいも施工してきました。このショールームは、片桐建設の愛知県における拠点であり、同社が加盟するアイフルホームの岡崎南店でもあるのです。

片桐建設に限らずコロナ禍で新築住宅の着工が減少した折、同社はこ

れからの家づくりに向け、自社のリブランディングを行いました。そこで得たコンセプトが「変化を楽しむ住まい」です。

住まいが完成してから、その家での家族の時間が動き出します。子どもは日々成長し、やがて家を出て、親たちは年を重ねます。ライフスタイルも時に応じて、また家族構成に応じて変わることでしょう。そうした変化の中で、家は住まい手の人生に寄り添い、永い時間を共にしたい。そうして刻み込まれた記憶ゆえにいつまでも暮らしに馴染み、愛着が湧き、家そのものも成長していく、そんな住まいでありたい。「変化を楽しむ住まい」という言葉に込めた想いです。

コンセプトを実現するためのこだわりが三つあります。デザイン、構造と性能、素材です。大工と職人のプロ集団が、お客様の幅広い要望に柔軟に 대응することで、本物のお客様志向を実現すること。耐震等の安全性と健康で快適な空間を確保すること。木を熟知する企業として選り抜きの無垢材を当たり前に使うこと。

三つのこだわりに加え、片桐建設の最大の強みは、オリジナルの注文住宅にフランチャイズの商品力やコスト競争力をいかにせる点です。

あなたは家づくりのパートナーに誰を選ぼうとしていますか。ハウス

メーカー、地元工務店、それとも建築家でしょうか。設計の自由度、デザイン性、素材、機能や性能、施工力、コスト、アフターケアなどを総合的に考えた時、すべての要素をバランス良く満足させてくれる会社があるとしたら、その中の一社には間違いなく片桐建設があげられるでしょう。地域の工務店としてきめ細かな対応力と確かな技術があり、家族の想いに応じて多様なデザインを生む設計士を社内外に複数抱え、フランチャイズ加盟店としてハウスメーカーの優れた商品力・開発力・コスト競争力を活用できるからです。

片桐建設は、工務店とハウスメーカーと建築家のいいとこ取りができる住まいのプロデューサーなのです。



現在建築中の新しいモデルハウス。工務店とハウスメーカーと建築家のいいとこ取りをした住まいづくりを、間もなく体感できる。

を活かしたノベルティを制作するイベントや木工教室、ちびっこ棟梁など、木や森とのかかわりを考えるきっかけをつくります。「食育」では自社農園でのりんご収穫体験や、収穫したものでつくる料理教室を開催しています。「住育」では長野、愛知、岐阜、山梨の4県にまたがる拠点展開のメリットを活かし、移住支援などにより良い暮らしをサポートしています。「教育」では自社工場を社会科見学の場にしたたり、林業、大工などの職業体験の実施、就労のための支援をしたりしています。

より良い暮らしには、住まいのみならず住まいと住まい手がつと関わっていくあれこれを、共に活かす育むべきだと片桐建設は考えます。「変化を楽しむ住まい」であるためには、暮らしも住まいも住まい手も、そしてつくり手も変わり続ける活力が必要で、変わり続け、活き続けるために、片桐建設は育むのです。

この岡崎ショールームも「活かし育む」活動の拠点の一つとして、この先さまざまなイベントが行われます。きっと、良い暮らしをもたらす皆さんのモノ・コトが生まれていくことでしょう。



ショールームはお客様との打ち合わせの他、時代や環境の変化に適したモノ・コトを創り、伝える場としても活用される。



より良い暮らしのため
活かし、育み、
だから活きる

住まいのプロデューサーという強みを前面に打ち出して歩み始めた片桐建設が、使命として掲げるのが「暮らしと活きる」であり、「より良い暮らしのために、人、素材、食、住まい、場所、環境を活かし、育む」を体現します。時代や環境の変化に適したモノ・コトを創り、伝え続けます。」という約束です。

活かし育むため、当社が取り組む活動が四つあります。「木育」では、端材



片桐建設 営業部 主任 東 構起さん